

平成 27 年度 第 3 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 27 年 6 月 3 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成27年6月3日（水） 午前9時30分 ～ 午前10時18分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
弓削ルリコ	委員	田中真人	委員
金本一二	委員		

事務局

藤原卓郎	教育部長	楳谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
菊元 学	学校給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 教育長職務代理者の指名について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、教育長職務代理者はあらかじめ教育長が指名する委員がその職務を行うため、教育長が教育長職務代理者として、杉本委員を指名した。

5 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

6 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

田中委員

7 前回会議録の承認

第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、教育総務課 澤田課長が説明し、承認された。

8 教育長報告

次の2点について西岡教育長が報告した。

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮南中学校区学校規模適正化については、5月21日、第1回正副会長会が開催され、第2回協議会開催に向けて協議いただくとともに、6月15日に一宮南地区協議会だより（NO.1）を発行することも協議いただいた。なお、第2回協議会は7月1日に開催予定となっている。

一宮北中学校区学校区について、6月2日、第10回正副会長会が開催され、6月16日開催予定の第9回協議会に向け協議いただき、協議会における校章デザインの決定方法や校歌制作に向けた今後の予定等について協議いただくことになった。

幼保一元化地域の委員会については、波賀中学校区、一宮北中学校区、一宮南中学校区について、6月から7月にかけての委員会開催に向け、委員の選任等について市民局と調整を進めているところであり、併せて先進事例を視察するという一方で、先進地の認定こども園を視察を進めていく予定となった。

(2) その他事業について

理科おもしろ実験教室として、学習指導要領において充実が求められている観察・実験活動等について科学の専門家による特別授業を実施し、児童生徒の理科への興味・関心を高めることを目的に、平成27・28年度の2年間、寄附金を活用して授業実施を行う。5月には、市内4中学校ですでに開催しており、講師に神戸市内の私立大学准教授を招き理科実験のおもしろさを伝えていただいた。生徒たちも目を輝かせ普段見ることの無い実験や種々の理科実験に驚いた様子が印象的であった。ぜひ、この教室を通して理科の面白さや楽しさを理解してもらえればと思っており、今後も同准教授による実験教室を全小中学校で予定している。

以上である。

9 協議報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、教育総務課 澤田課長、こども未来課 田村課長が報告した。

(2) 野尻幼稚園園舎の活用について

口頭説明により教育総務課 澤田課長が報告した。

(3) 社会科副読本の作成について

資料2「宍粟市社会科評価プロジェクトチーム設置要項（案）」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(4) 平成27年度教員マイスター制度について

資料3「平成27年度教員マイスター制度要項」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(5) 千種認定こども園関係工事・機器購入概要について

資料4「千種認定こども園仮置土砂撤去工事概要」「千種認定こども園厨房設備機器購入概要」により、こども未来課 田村課長が報告した。

(6) 市民スポーツ活動推進事業について

資料5「平成27年度6月号 市広報掲載原稿案」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

(7) その他について

資料6「平成27年度進路状況調査集計表について」、資料7「学校訪問日程について」により、学校教育課 志水課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(杉本委員)

社会科副読本の社会科評価プロジェクトチーム設置の委員委嘱については、正式委嘱でなくても学校教職員以外の方にも協力をいただきチーム設置ができないか、また、副読本の意義からも、郷土の歴史や地域のことがきちんと学べ、全国共通教科書にはない特色ある内容とするためにも、委員の枠を広げることができないか検討いただきたい。地域の方から知恵や知識をいただきながら、より良い副読本となるよう制作をお願いしたい。

(学校教育課長)

プロジェクトチーム設置目的は、社会科副読本の改訂作業がメインの目的であり、その名称は意図が分かるよう改めて検討させていただきたい。また、学校教職員で構成する委員は、教科書会社の指導を受けながら、行政機関、神社仏閣関係者、地域の歴史研究家等から情報収集の作業をお願いしたいと思っており、その過程で地域から貴重な意見がいただければと思っている。3年4年の社会科教育課程では、地域の歴史を学ぶという課程はあまり無く、想定される完成副読本のページ割りも、地域に特化したページは、昔から伝わる行事や建物等について約4ページの予定である。地域の方をはじめ各種専門の方に委員として入っていただくと紙面構成のバランスもあり、情報収集を通して地域の方々から意見をいただくなど多くの方に協力をいただき制作したいと思っている。

(教育長)

教育課程と整合性を図りながら、良い副読本をめざして制作をお願いしたい。

(金本委員)

千種中学校区では、「千種学」として千種の様々な学習や研究をしており、その学習手法等も副読本の制作に当たり参考にさせていただければと思う。

(学校教育課長)

地域の調べ学習という点では、同校区における「千種学」の取り組みは、他地域に比べても、抜きんできているといえる。同校区では小学校から高校まで、歴史や風土、産業や自然等を研究し、2年前には千種中学校が中心となり学習成果をまとめあげられた実績もある。同校区では「千種

学」を総合的な学習として位置づけ、3年生から中学生まで体系的に取り組んでおり、この取り組みを通じて得た、調べ学習のノウハウを参考にして副読本の制作にもあたっていきたい。

(弓削委員)

他県ではあるが鉄の産地を訪れる機会があり、特徴があまり無い町であったが、観光目的で多くの方が訪れていた。これは情報の伝え方や伝わり方次第で、人をひきつける多くのものが生まれることでもあり、宍粟でも千種が昔は鉄の有数な産地として繁栄したとも聞いてはいるが、本当はあまり詳しくは知らないというのが、多くの宍粟の人の感じ方ではないかと思う。市の人口減少も心配であり、宍粟市が地域の有形無形の財産について宣伝する力をもっと身に付け、情報発信をしていけば、市にとって良い事につながっていくのではないかと思うがいかがでしょうか。

(学校教育課長)

小学校3年生の学習では自分たちで調べて回るというのが学習の大きなポイントであり、委員が言われる情報発信の重要性にもつながっていくことだと思う。子どもたちに、学習を通じて情報収集や発信の重要性を学んでいってもらいたいと思っている。

(社会教育課長)

社会教育分野でも、歴史文化の重要性は十分認識しており、千種では地域や社会教育の分野において、「たたら」をキーワードに地域づくり人づくりに取り組んでいる。他地域でも自治会等を中心に世代を超えて、歴史文化を中心に名勝や遺跡文化財めぐり、学習会、文化に関する冊子作り等の動きもあり、社会教育の分野でも、今後、力を入れていかなければならないと思っている。

(弓削委員)

教員マイスター制度において認定する教員について、その認定に当たり配属学校等の調整はあるのか教えていただきたい。

(学校教育課長)

市内で22の小中学校があるなか、マイスター制度で認定する教員については、配属先に関係なく基準に従って認定している。

(杉本委員)

教員マイスター制度の要項では、普段あまり使わない師範という用語を用いて、師範授業研究会という研修会が開催されるが、師範という用語を使う必要性や理由等あれば説明をいただきたい。もし、その必要性が十分に無いならば、教員がもっと肩の力を抜き、互いに研究に取り組んでいく意思がわかるような研修会の名称を検討されてはどうかと思う。

(学校教育課長)

観せるという視点を含ませるため、要項では師範という用語を用いているが、実際の研修現場では師範研修会という名称は用いておらず、今後、その活動にふさわしい名称に変更していきたいと考えている。研修会内容としては、教科部会との連動のなか部会研修を兼ねて授業公開して指導方法や指導内容等の工夫改善につなげたり、特別に初任者教員を対象に授業公開をいただき優れた指導技術を若い世代に伝えたりする活動をしている。

10 次回会議の招集について

平成27年7月23日（木）午前9時30分から、平成27年度第4回宍粟市教育委員会を宍粟市役所401会議室で開催すると決定した。

11 閉会

杉本委員が閉会した。

以上 午前 10 時 18 分終了